

(1) 2002年度事業報告(案)

(2) 2003年度事業計画(案)

(3) 予算案

これらの案を検討した。総会では事業計画を説明する際に学会の問題意識を示す事とした。

7. 第19期日本学術会議会員などについて

延期されていた会員推薦手続きが開始された。「学術会議会員候補者および推薦人の選考委員会」委員候補者を選んだ。選考対象者の募集を行う。

8. 評議員会の開催について

開催案内の文書を確認した。

9. IUGG2003アウトリーチ活動への参加について

IUGG 札幌ではIUGG 参加者でない地元の人へ、次のような啓蒙活動を行う事としている。

(1) 市民大学

(2) 青少年科学館特別プログラム

(3) ジュニアセッション

(4) 小学校への出前授業

教育と普及委員会でこの件に関して検討した。このうち、小中高校生による研究発表である(3)以外は学会として関わる事とした。(1)は日本気象学会理事長とIAMAS会長による市民向けレクチャー、(2)は北海道支部の夏季大学の振り替えが可能、(4)は理事長が引き受けることとした。

10. 気象学会東北支部活動への支援について(依頼)

気象学会東北支部から気象講演会開催に関する費用の支援の依頼があった。趣旨を了承し、より具体的に希望を聞く事とする。

11. その他

(1) 気象学会会員に呼びかけるIUGGへの寄付の振り込み手数料は気象学会負担とする。

(2) 基本財産の運用益の使途に関する規定が必要である。

2003年度島津賞の候補者推薦募集および島津科学技術振興財団研究開発助成の募集

標記の賞・助成は島津科学技術振興財団が運営しているものです。関心のある方は以下の要領で推薦・応募して下さい。

1. 島津賞

(1) 表彰の対象

科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究において、近年著しい成果をあげた功労者

(2) 表彰の内容

賞状、賞牌、副賞賞金300万円

(3) 表彰件数

1件

この賞の応募には学会の推薦が必要です。気象学会では、7月末ごろに「学会外各賞候補者推薦委員会」を開催して推薦候補者を選考する予定です。その際の参考にするため、推薦するにふさわしい方をご存じでしたら、簡単な推薦理由を添えて2003年7月中旬までに気象学会(右記連絡先)あてお知らせ下さい。

2. 島津科学技術振興財団研究開発助成

(1) 助成の対象

科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究

(2) 応募の資格

原則として、国内の研究機関に所属する45歳以下の新進気鋭の日本人研究者

(3) 助成金額

総額800万円、1件につき100万円以下

この助成の応募には学会の推薦は必要ありません。詳しい応募要領や応募用紙は

<http://www.shimadzu.co.jp/SSF>

からダウンロードできます。また気象学会にあります。応募したい方は、各自で書類を入手の上、上記財団に直接送付して下さい(2003年9月30日必着)。

連絡先：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4
気象庁内日本気象学会
学会外各賞候補者推薦委員会